

公開講座

現代最高の鬼才ピアニスト

Valery Afanassiev

# アフアナシエフ氏を迎えて

～詩とピアノの夕べ～

2009年

6月16日(火) 19:00 開演

18:30 開場

京都芸術劇場 春秋座

京都市左京区北白川瓜生山2-116(京都造形芸術大学内)

料金 1500円 (全席指定)  
京都芸術劇場友の会 1000円  
学生&ユース (25歳以下) 500円  
※要証明書提示  
【5月25日(月) 発売開始】

出演 ヴァレリー・アフアナシエフ (逐次通訳あり)

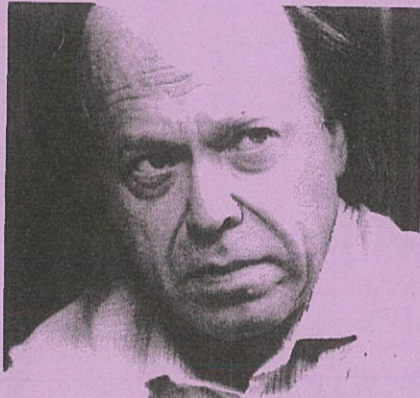
司会 浅田彰

エリザベート王妃国際音楽コンクールで優勝し、ギドン・クレーメルとのデュオで世界的センセーションを巻き起こした後、極端におそいテンポと無限の深みを感じさせる響きで独自の世界を築き上げたヴァレリー・アフアナシエフ。

ロシア・ピアノズムの最後の継承者とも言うべきこのピアニストが、小説家であり詩人であり演劇人でもあることは、あまり知られていない。それどころかアフアナシエフ自身は「自分は何より文人であるにもかかわらず、あたらピアノが弾けるのでその面ばかりが注目されてしまった」とさえ言いたげなのだ。

現在、世界でもっとも注目されるピアニストの一人であるアフアナシエフのもうひとつの顔を、彼がソヴェト時代から憧れてやまなかった京都の地で発見する。既成のジャンルを超えたアフアナシエフの「詩とピアノの夕べ」は、そういう特権的な機会となることだろう。

京都造形芸術大学大学院長 浅田彰



© Y.YONEDA

ヴァレリー・アフアナシエフ  
Valery Afanassiev

パッサ国際コンクール、エリザベート王妃国際コンクール優勝。レニングラード・フィル、ベルリン・フィル等著名オーケストラと多数共演。クレーメルとの初来日以来、演劇的要素を加えた「展覧会の絵」等伝説的な名演を残す。録音も多く、受賞盤多数。指揮活動にも意欲的で、新日本フィル、神奈川フィル、東京シティ・フィルと共演し、自身の音楽観を鮮烈に提示。詩、小説、演劇等、文学の領域でも積極的に作品を発表している。2008年3月放送のNHKのドキュメンタリー番組でも表現者としての強烈な存在感を示した。

□□□

主催：京都造形芸術大学大学院、比較芸術学研究中心  
舞台芸術研究中心

お問合せ：京都造形芸術大学 舞台芸術研究中心  
TEL:075 791 9437

チケット取扱：京都芸術劇場チケットセンター  
TEL：075-791-8240 (平日 10時～17時)  
劇場オンラインチケットストア  
パソコンから <http://www.k-pac.org/>  
携帯から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>  
※要会員登録 (無料)



JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車  
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)  
京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
京都市バス204循環に乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)  
京阪電鉄出町柳駅から  
叡山電鉄に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分  
※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
ご来場はお断りします。